

# Compact Cool キット 取扱説明書

(3-FIN)

製品番号 07-07-0296

取り付けマウント位置：ステップフロア内  
オイル取り出し位置：オイルフィルターカバー  
ホース：ラバーホース

適応車種 アドレス V125 (CF46A-100001 ~ )  
(CF4EA-100001 ~ )

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎取り付け作業時に、エンジンオイルを追加する必要がありますので、作業前に同銘柄のエンジンオイルをご用意頂いた上で作業を行って下さい。

## ～特徴～

- アドレス V125 は、そのエンジン構造上オイルクーラーを取り付ける事が困難ですが、専用アダプターとオイルフィルターを用いる事で、オイルフィルターを無くさずにオイルクーラーの装着を可能としました。
- フロア裏面のスペースにオイルクーラーを取り付けますので、必要以上に目立たないように取り付けの事が出来ます。
- アンダーカバーに開ける導風穴も、ステンレス製エッチング加工のインテークプレートにより高品位に処理する事が出来ます。
- オイル取り出しアダプターには、別売りの弊社製 M5 温度センサー及びサーモスタットユニットの取り付けが可能になっており、エンジン温度管理が出来るようになります。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

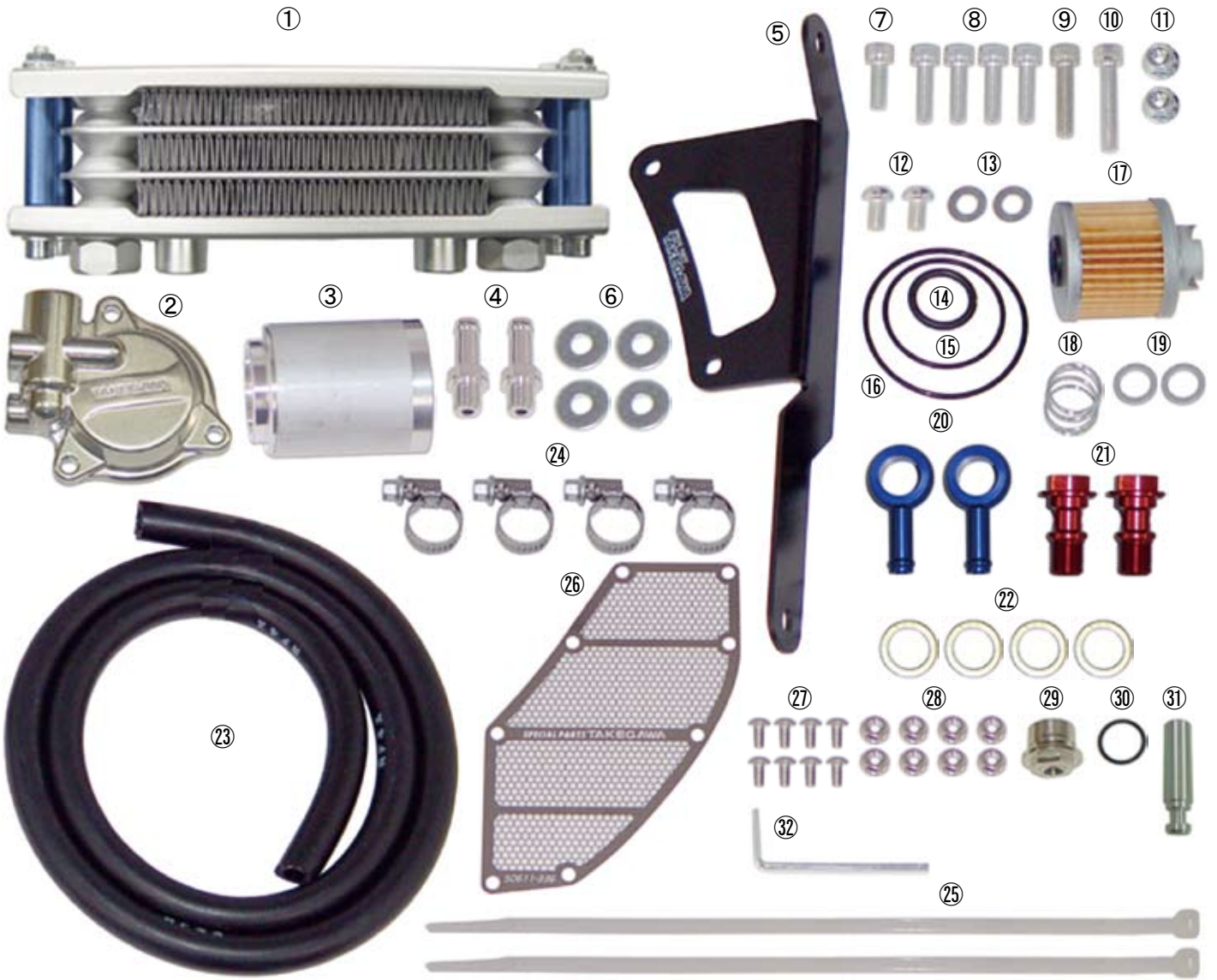
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容

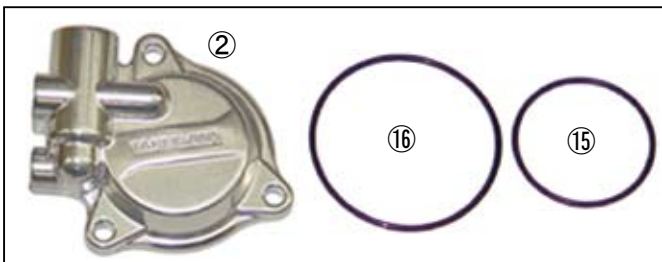


00-07-0062

00-07-0064

00-07-0123

00-07-0063



番号	部品名	数量	リペア品番	番号	部品名	数量	リペア品番
1	コンパクトツール (3-FIN/AL)	1	15000-KYJ-T10	18	オイルフィルタースプリング	1	00-07-0065
2	オイルフィルタアダプター (ダイカスト製)	1	00-07-0062	19	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
3	パーティション COMP.	1	00-07-0064	20	バンジョー 14mm	2	00-07-0127
4	ストレートユニオン M10	2	13435-000-T00	21	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
5	オイルクーラーステー	1	15660-33G-T02	22	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
6	ブレンワッシャ (6.5x18x2.0)	4	00-00-0088 (6ヶ入り)	23	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018 (1000mm)
7	ソケットキャップスクリュー 6x16	1	00-00-0810 (5ヶ入り)	24	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
8	ソケットキャップスクリュー 6x20	4	00-00-0721 (5ヶ入り)	25	結束バンド 250mm	2	00-00-0202 (10ヶ入り)
9	ソケットキャップスクリュー 6x25	1	00-00-0722 (5ヶ入り)	26	インテークプレート	1	50611-33G-T00
10	ソケットキャップスクリュー 6x30	1	00-00-0090 (5ヶ入り)	27	ボタンヘッドソケットスクリュー 4x8	8	00-00-0097 (6ヶ入り)
11	フランジUナット 6mm	2	00-00-0091 (6ヶ入り)	28	フランジナット M4	8	00-00-0098 (10ヶ入り)
12	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x10	2	00-00-0092 (5ヶ入り)	29	サーモスタットホールキャップ	1	00-07-0063
13	ブレンワッシャ 6mm	2	00-00-0086 (10ヶ入り)	30	Oリング 15mm	1	00-00-0185 (5ヶ入り)
14	Oリング 18mm	1	00-00-0093 (2ヶ入り)	31	オイルホールプラグ	1	00-02-0391
15	Oリング 40mm	1	00-00-0094 (2ヶ入り)	32	六角棒レンチ 2.5mm	1	
16	Oリング 55mm	1	00-00-0095 (2ヶ入り)				
17	オイルフィルター	1	00-02-0027				

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

●作業を始める前に

○当製品取り付けにはオイルフィルター部の分解・脱着作業が必要となりますが、作業開始前にオイルフィルター部周辺を洗浄し、砂や汚れをしっかりと落としてから分解作業を行って下さい。

⚠注意：オイルラインに砂や汚れが混入するとエンジントラブルの原因となります。

○オイルフィルターアダプターの取り付け作業に伴い、エンジンオイルがこぼれる場合があります。

オイル受けやウエス等を準備し、作業スペースを養生した上で作業を行って下さい。

○水平で安全な場所でセンタースタンドをかけた車両を安定させます。

不意に車両が前方へ動き、スタンドが外れたりしない様に、フロントブレーキレバーを結束バンドやゴムバンドを用いて、しっかりと握った状態にしておくと、より安全です。

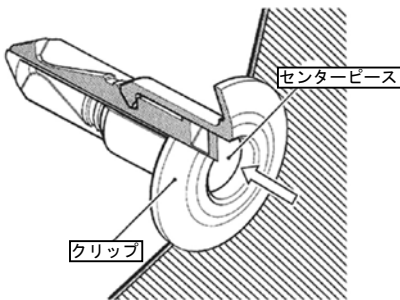
●部品の取り外し

・アドレス V125 の外装に使用されているクリップの取り外し・取り付け方法

取り外し

○クリップのセンターピースの頭部を押し下げる。

○クリップを引き抜く。

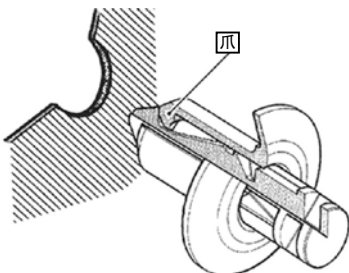


取り付け

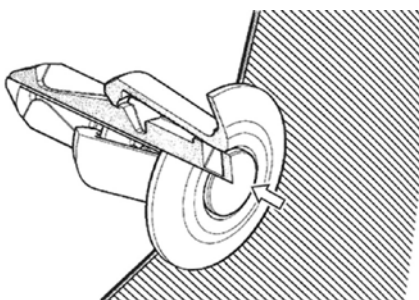
○センターピースの頭部を突き出させ、爪が開くようにする。

○クリップを取り付け穴に挿入する。

※爪の損傷を防ぐ為、クリップは取り付け穴の一番奥まで挿入する。



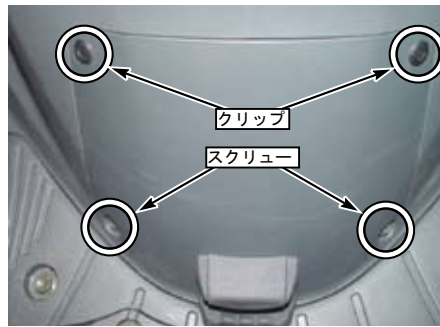
○センターピースの頭部がクリップの外周と同じ高さになるまで押し込む。



・メンテナンスリッド No.2 (シート前方下部) の取り外し

○スクリューおよびクリップを外します。

○メンテナンスリッド No.2 を外します。



・ロアレグシールドの取り外し

○フロントレグシールド下端を固定しているクリップを左右共に外します。



○フロントレグシールド下端を外側に広げると、ロアレグシールドを固定しているスクリューが奥にありますので、左右共に外します。

⚠注意：フロントレグシールド下端を必要以上に外側に広げすぎると、カウルが破損する恐れがあります。



○ロアレグシールド底面中央に有るクリップを外します。



○フロア後端の左右側面にあるスクリューを左右共に外します。

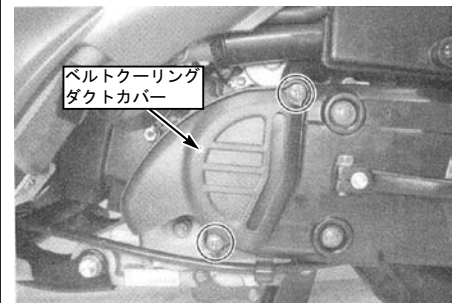


○フック位置に注意しながら、ロアレグシールドを取り外します。



・クラッチアウタカバーの取り外し

○タッピングビスを取り外し、ベルトクリーニングダクトカバーを取り外します。

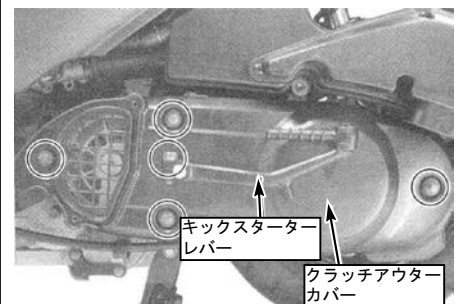


○キックスターレバーを取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
キックスターレバー  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

○クラッチアウターボルトを取り外し、クラッチアウターカバーを取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
クラッチアウターボルト  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



・オイルクーラーの取り付け

○オイルクーラーを下図のように組み替えます。  
 ①バンジョーボルト M12x1.0 に、②アルミシーリングワッシャ 14mm ③バンジョー 14mm  
 ④アルミシーリングワッシャ 14mm の順に通してから、①コンパクトツールに仮付けておきます。



○⑦ボタンヘッドソケットスクリュー 6x10 に  
 ⑧ブレンワッシャ 6mm を通し、⑤オイルクーラーステーに①コンパクトツールを取り付け規定トルクで締め付けます。

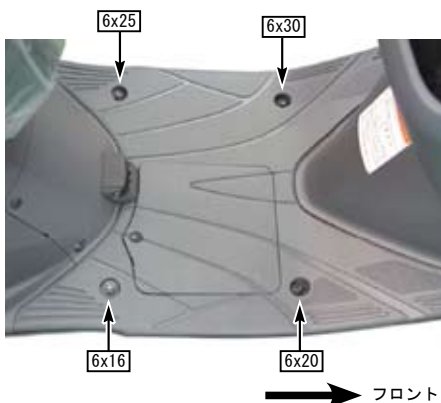
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ボタンヘッドソケットスクリュー  
 トルク：9N・m (0.9kgf・m)



○純正のリアレッグシールドを固定しているスクリュー 4 本を取り外します。

○⑦ソケットキャップスクリュー 6x16  
 ⑧ソケットキャップスクリュー 6x20  
 ⑨ソケットキャップスクリュー 6x25  
 ⑩ソケットキャップスクリュー 6x30  
 それぞれに⑥ブレンワッシャを通し、図を参考に長さを間違わない様に締め付けます。

▲注意：正しい位置に正しいスクリュー長さを取り付けなければ、オイルクーラーステーが取り付け出来ません。



○図のようにステーをペンチ等で曲げます。(ステーが折れない様、曲げすぎには注意して下さい。)



○先程組み立てたオイルクーラーとステーを、車体左側裏面から取り付け、先程取り付けした⑨ソケットキャップスクリュー 6x25、⑩ソケットキャップスクリュー 6x30 の貫通したスクリュー先端と共締めになる様に⑪フランジリナット 6mm で仮止めします。



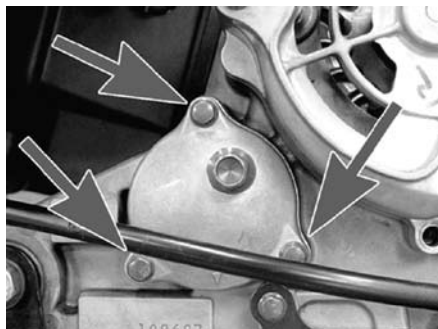
○フレームや、サイドスタンド等（取り付け車の場合）と干渉の無い事を確認の上、フランジリナットを規定トルクで締め付けます。また締め付け時は、必ずレッグシールド側のソケットキャップスクリューが回らない様に工具で固定し、フランジリナットを回して締め付ける様にして下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 フランジリナット  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

・オイルクーラーユニットの取り付け

○②オイルフィルターアダプター側面には、別売りオプション品の M5 サーモセンサーを取り付ける為の、M5 メネジを設けてあります。M5 センサーを取り付ける場合は、オイルフィルターアダプターを車両に取り付ける前の方が作業を行いやすいので、別途お求め頂いたサーモセンサーの取扱説明書をご確認の上、取り付け作業を行って下さい。

○エンジン下にオイル受け等を準備した上で、純正オイルフィルターキャップとスプリングを取り外します。この時取り外した純正のスクリュー 3 本は再使用しますので、紛失しないように保管しておいて下さい。

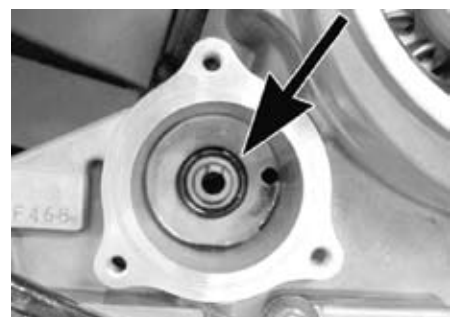


○純正オイルフィルターと、0リングを取り外し、オイルフィルターキャップ取り付け面を清掃します。



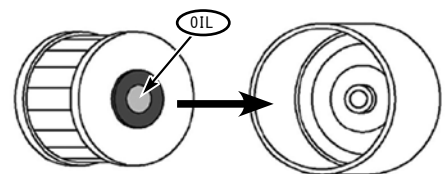
○⑭0リング 18mm にエンジンオイルを塗布し、クランクケース奥の突起部外周に取り付けます。

▲注意：この時、純正の0リングがクランクケース奥に残っていない事を必ず確認して下さい。



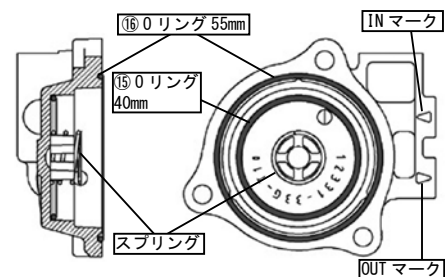
○①オイルフィルターのラバーパッキン部にエンジンオイルを塗布し、ラバーパッキン側から③パーティーション COMP. に差し込みます。

▲注意：パーティーション COMP. の片端は、差し込み部寸法を調整する為に外径切削加工をしています。パイプ寸法公差により外周が部分的に切削されていない物もあります。部分的に切削されていない物であっても不良品ではありませんので、問題なくお使い頂けます。また、外周の仕上げによる性能差も有りません。



○②オイルフィルターアダプターに、キット付属の⑮オイルフィルタースプリングを取り付け、⑮0リング 40mm と、⑯0リング 55mm に薄くグリスを塗布して取付けます。

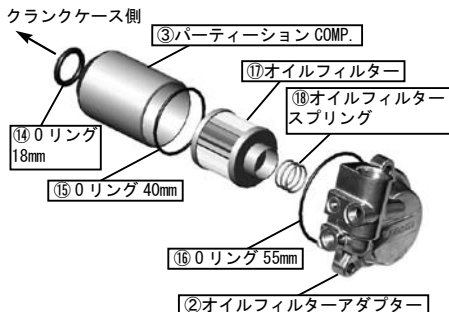
⑯0リング 55mm は溝からはみ出しやすいので、はみ出さない様に確実に取付けて下さい。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○下図の位置関係を参考にし、③パーティションCOMP. と、②オイルフィルターアダプターをクランクケースに取り付け、キット付属の⑧ソケットキャップスクリュー 6x20 3本で仮止めします。

この時、Oリング及び⑱オイルフィルター Springsが脱落しないように注意し、③パーティションCOMP. が②オイルフィルターアダプターに真っ直ぐ差し込まれるようにして下さい。

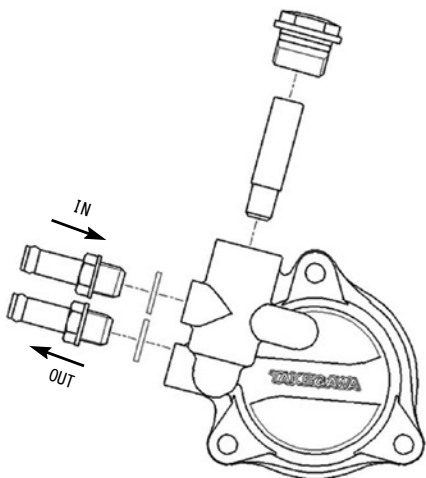


○⑧ソケットキャップスクリュー 6x20 3本を締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

○キット付属の⑲アルミシーリングワッシャ 10mmに④ストレートユニオン M10を通し、②オイルフィルターアダプターに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



○⑳サーモスタットホールキャップの溝部に㉑Oリング 15mmを取り付け、Oリング部に少量のエンジンオイルを塗布します。

○㉑オイルホールプラグの段付き側を、②オイルフィルターアダプターのサーモユニット取り付け部に挿入し、⑳サーモスタットホールキャップを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
サーモスタットホールキャップ  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲警告：オイルホールプラグを取り付ける際は、必ずオイルクーラーを接続して下さい。オイルホールプラグを取り付け、ストレートユニオンを塞いだ状態でエンジンを始動すると、エンジンオイルが循環する事が出来ない為、エンジンが破損します。

○クランクケース外側やオイルストレーナーキャップ周辺にこぼれ出たオイルを、パーツクリーナー等を用いて完全に洗浄しておきます。

▲警告：オイルが残っていると、走行時にオイルがタイヤに付着するなどして、重大な事故につながる恐れがあります。

### ・オイルホースの取り付け

○車両に合わせて㉓オイルホース 1000mmを切断し、両端に㉔ホースクランプを通して、オイルクーラーユニットと①コンパクトクーラーを接続します。

(ホース長さをいきなり短く切断しすぎないように、現車に合わせて調整しながら切断して下さい。)



○㉓オイルホースの長さが決まりましたら、㉔ホースクランプを4つ共締め付けます。

▲注意：ホースクランプのクランプ部分が、車両ハーネスやオイルホース等に干渉しないように、位置を調整して下さい。

○オイルクーラーに仮付けしていた㉑バンジョーボルト M12x1.0 を、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

▲注意：締め付けは、オイルクーラーのヘッダー部分(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、バンジョーが回らない様に固定しながら締め付けて下さい。

○㉕結束バンド 250mmでホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途パイラルチューブ等をご用意頂き、干渉する部分のオイルホースを保護して下さい。



### ・インテークプレートの取り付け

○別紙取り付けアドバイスを参照し、取り外してあるロアレグシールドの左前方下部に、導風用の穴を開けます。

▲注意：加工時は、適切な保護具や手袋を着用の上、十分注意して作業を行って下さい。

○㉖インテークプレートをロアレグシールドに沿うように曲げ、表側から㉗ボタンヘッドソケットスクリュー 4x8を通し、ロアレグシールド裏側から㉘フランジナット M4で固定します。



### ・組み付け

○取り外した外装類を、元通り組み付けます。

○エンジンオイルを、オイルクーラー容量分(40cc)程度追加します。

### ・最終確認

○必ず換気の良い場所で車両を水平に立て、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等が無い点検を行って下さい。

▲警告：密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

○2~3分間アイドル運転後エンジンを停止し、2~3分後にセンタースタンドを収納した状態(水平・垂直)でオイル量が適正かどうか点検し、必要に応じて、オイルを追加して下さい。

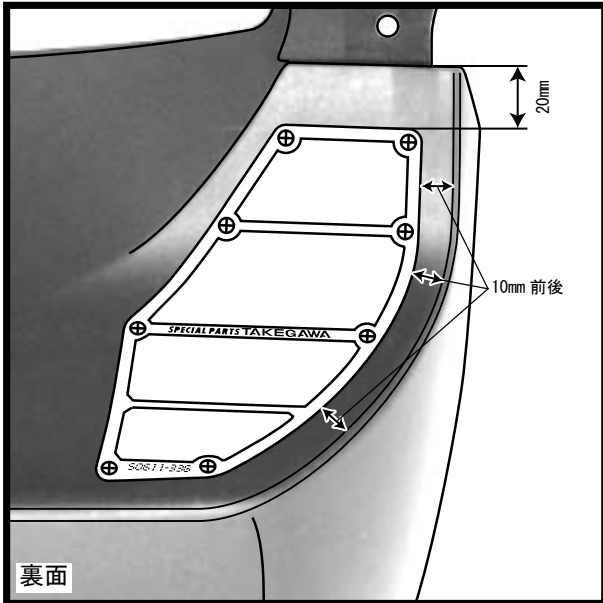
(オイル量点検時レベルゲージは、差し込むだけでねじ込みません。)

○試運転をしてリアサスペンションを作動させて、ホースに無理がかかった形跡や、エンジン及びフレームとの干渉が無いを確認して下さい。

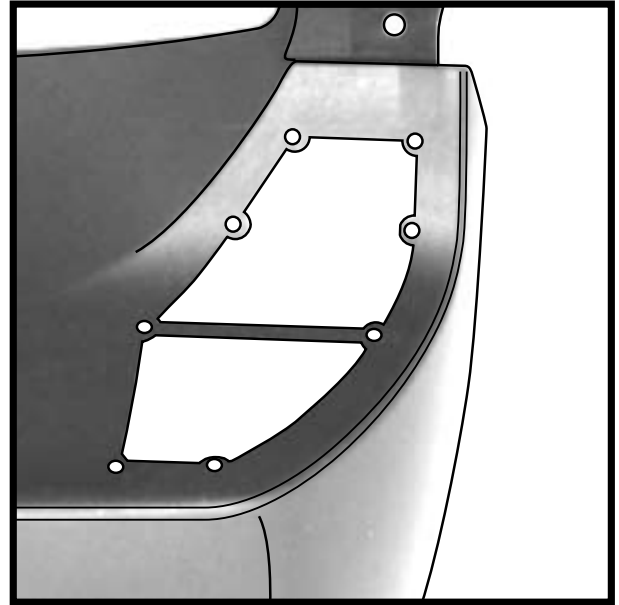
## ～インテークプレートの取り付けアドバイス～

○下記方法はあくまで参考です。失敗しないよう慎重に作業を行って下さい。

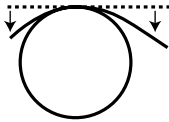
○ボタンヘッドソケットスクリュー差込み穴の中心をマーキングします。仕上がりに対して最も重要な作業です。特に慎重に行ってください。型紙又はインテークプレートを、ロアレグシールドの所定箇所にテープ等で仮止めし、スクリュー差込み穴の中心をペンや目打ち等でマーキングします。



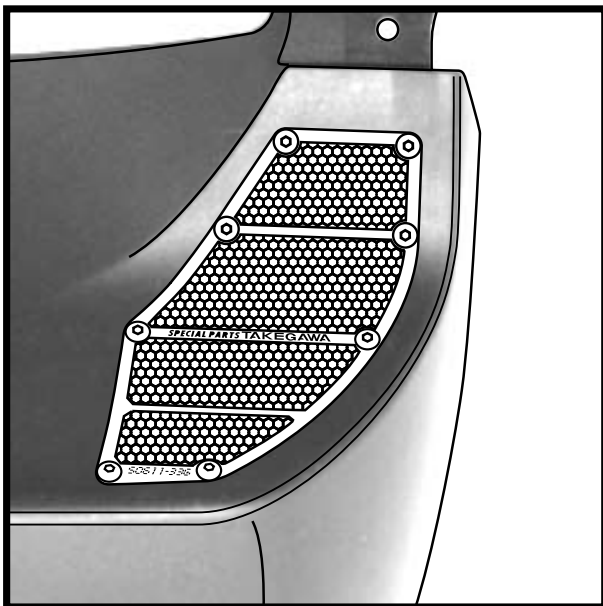
○㉗ボタンヘッドソケットスクリュー 4x8 と㉘フランジナット M4 で、インテークプレートを固定して完成です。㉘フランジナット M4 がカウル内側になります。



▲注意：型紙を使用した場合、インテークプレートを実際に宛がい、穴の中心がずれていないかよく確認して下さい。また、インテークプレートを曲げる時は、円柱状の物（太めの空き缶等）を利用し、滑らかに湾曲させて下さい。手で無理に曲げるとカウルに沿わなくなってしまうです。



○マーキングした8ヶ所に4mmの穴を開け、インテークプレート枠内に外気導入口を開けます。下図のような加工が困難な場合は、大き目の丸穴を沢山開ける等、インテークプレート枠内に、出来るだけ導入口を設けて下さい。また、導入口はインテークプレートの影になりますので、加工が少々荒い場合でもあまり目立ちません。削り過ぎには十分注意しながら加工して下さい。



### 型紙

